

# 四中だより

夢に向かって、人生の基礎を築き、大きな翼を育む学校

新座市立第四中学校学校だより 令和8年2月2日 第12号

TEL 048-477-6053 URL [www.c-niiza.ed.jp/j-daiyon](http://www.c-niiza.ed.jp/j-daiyon)



## 四中生の豊かな「学び」を育む

校長 大井 敏彰

### 【校外活動の充実】

先月は、各学年の校外活動が充実していました。1年生は2泊3日のスキー林間学校、2年生は上野・浅草校外学習があり、校外で多くのことを学んできました。3年生は私立高校の受験があり、多くの生徒が受験に臨みました。



【1.18 1年生志賀高原スキー林間学校】

次の週にインフルエンザに罹患した生徒が多く、学級閉鎖や学年閉鎖の措置により欠席者が多い中、校内ではどの学年も落ち着いて学校生活を送っている姿が見られました。その様子から校外活動等の成果が感じられました。

### 【研究発表会に向けて】

今月10日（火）新座市教育委員会委嘱の研究発表会を開催します。「質の高い学びの実現に向けた授業スキルの向上」を研究主題とし、校外から多数の参会者をお招きし、3年間の研究の成果を発表します。

この研究は「教師がしゃべり過ぎる授業を改善したい」との思いから、2年前にスタートしました。1単位時間（50分間）のうち、教師が指示説明する時間（≡教師の時間）と生徒が活動する時間（≡生徒の時間）を測定し、これを「授業デザイン」と捉えて研究の柱としました。教師は「生徒の時間」が「生徒に任せっぱなしの時間」にならないよう、教科ごとに質の高い学びを定義し、その学びを実現するための手立てを講じて、授業改善に取り組みました。

### 【四中生の豊かな「学び」】

校内を巡回していると「いい授業だなあ」と感じる場面があります。授業研究の成果なのかもしれません。いくつかの事例を紹介します。

#### ① 本物に触れ、体験する「学び」

理科では、生物の授業において、ブタの心臓や腎臓を観察したり、ブタの眼球を解剖したりしながら、本物に触れる授業を展開していました。観察や実験をとおして、体験する学びの充

実が図られています。

#### ② 資質・能力を育む、実用的な「学び」

英語では、「読む・書く・話す・聞く」の4技能が身に付くよう、1時間の授業が設計されています。教師は日本語での説明を最小限に留めつつ、生徒は「英語のシャワー」を浴びながら、実用的な学びを深めています。

#### ③ 個別最適な「学び」

数学では、授業の導入時に課題を与え、あとは各自のペースで学ぶ「自由進度学習」が部分的に行われます。座席も学び方も自由な中、遊んでいる生徒は見当たらず、どの生徒も自分のペースで学びに向かう姿が見られます。

#### ④ 没頭する「学び」

美術では、生徒が作品制作に没頭する姿が見られます。3学年「ミニマルアートに挑戦」では、生徒が自由な発想の下、テーマを見だし2枚のパネルに表現します。教師は生徒に問いを与え、生徒の思考を促しながら、主体的な学びを喚起しています。

#### ⑤ プロジェクト型の「学び」

3学年の総合的な学習の時間「四中絆博」では、卒業前に文化祭のようなイベントを行います。そのための準備をグループごとに進めています。「プロデューサー」や「公務員」の役割もあり、生徒の力でプロジェクトを成功させるための協働的な学びが展開されています。



【1.21「四中絆博」に向けて おぼけ屋敷の準備】

『教えから学びへ』（汐見稔幸著／河出新書）の中で「教えから学びへの発想の転換こそが教育を時代の変化に適応させる唯一の方法」と論じています。本校の教員が生徒の「学び」を大切に日々の授業を展開していることを、手前みそではありますが誇らしく感じています。

3年間の研究は終わりますが、本校では今後も四中生の豊かな「学び」を育てていくため、更なる授業改善を推進してまいります。